

## 7月の予定

## 8月の予定

日 曜	校 内 の 予 定	日 曜	校 内 の 予 定
18 月	<祝>海の日	18 木	2学期始業式 給食開始
19 火		19 金	
20 水		20 土	
21 木	クラブ 見守りボランティアの方との懇話会	21 日	P早朝作業 西P研修大会(西川町) 県学童水泳
22 金		22 月	
23 土	ビオトープ作業1年	23 火	校内水泳記録会
24 日		24 水	
25 月	1学期終業式 通知表配付・学級懇談会	25 木	なんぶタイム
26 火	1学期学校評価会議 研究全体会	26 金	
27 水	カップ教室 教材室の整理 図書整理	27 土	
28 木	カップ教室 備品整理 図書整理	28 日	
29 金	市教研所全体講演会 諸帳簿提出	29 月	
30 土		30 火	職場体験学習(陵南中2年生7名参加)
31 日		31 水	職場体験学習

## 知事と一緒に田植え

■5月22日(日)に5年生の子どもたちが、吉村山形県知事と一緒に田植えを行いました■このイベントは、デビュー2年目を迎える「つや姫」を全国に発信し、品質の高さをアピールしようとしたものです■あいにくの雨の中でしたが、土屋喜久夫さんの水田で「つや姫」の苗を植え、その後「つや姫」を使ったおにぎり作りにも挑戦しました■その後、体育館で子どもたちは、知事と試食をしながら「つや姫」の話題について交流したり、南部太鼓を発表したりしました



## 山形大学の学生4名による栄養教育実習!

■今年度も山形の4名の学生さんによる栄養教育実習が、6月13日(月)から17日(金)までの1週間行われました■4名の所属学級は、それぞれ2年1組・3年1組・5年1組・6年1組でしたが、安孫子栄養教諭と各担任の指導のもと、1週間の教育実習を終えることができました■実習の後半には、2年1組では「食事のやくそくを見直そう!」、5年1組では「朝食をしっかりと食べよう」をテーマに研究授業を行いました■どちらの授業も子どもたちが自分の食生活を振り返りながら、これからについて考えていく内容でした



平成23年度 ★★★★★★★★★★★★★★★★

発行日 平成23年7月15日  
発行所 寒河江市立南部小学校  
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

**南部っ子**

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

学校目標  
学び確かに 心豊かに 体健やかに

ぜひ、夏休みに 取り組んでみませんか!

# 子どもたちの積極的な社会参加を!

思い見える形に


3月11日の東日本大震災から数えて、4ヶ月がまたたく間に過ぎました。学校では一学期が過ぎようとしている今、子どもたちが日々の学習活動に一生懸命取り組むことができていることの幸せを、改めて感じています。

反面、寒河江に住んでいますと、新聞やテレビでは、福島第一原発事故の処理状況や避難所の様子は毎日大きく取り上げられていますが、あの大震災に対する意識は、申し訳ないのですが、日常生活の中では少なからず薄らいできていることも確かです。

あの大震災の時に、自然災害の恐ろしさはもちろん、その後の救援活動などに見られた人間の心の温かさ、被災された方々のたくましさ、力強さ、明るさ、はたまた「当たり前」という意味の大切さなど、多くのことを再認識させられました。決して風化させていけません。

あの時に流れたACジャパンのCMの一節が、心に残っているものの一つでもあります。

「こころ」はだれにも見えないけれど  
「こころづかい」は見える  
「思い」は見えないけれど  
「思いやり」はだれにでも見える・・・



一歩踏み出して思いやりを行動に移し、「見える気持ち」にすることが、見知らぬ人との心と心をつなぐ大事な架け橋になることを強く教えられました。

さて、今、「計画停電」とか、県でも「山形方式節電」の呼びかけとか、国民一丸となつての節電運動が起きています。そんな中で、子どもたちにできることはないのでしょうか。

こんな時だからこそ、積極的に自分たちの生活を見直し、無駄な電気は使わないという自分から節電に取り組み、見知らぬ人へ自分のできる「思いやり」を節電という形で表すチャンスだと思います。そうすることが、子どもたちが社会から守ってもらうだけの受け身の存在から一歩抜け出し、自分の思いを節電運動という見える形に表して「思いやりの気持ち」で社会貢献する、その第一歩を体験を通して学び取ることができるチャンスだと期待しています。

ぜひ、子どもたちと一緒に、家中の電気の使用を見直し、必要な電気は十分に使いながらも、無駄な電気をできるだけ押さえて困っている人にその分の電気を分けてあげる取り組みを、この夏休みに家族全員で楽しみながら実践できたら、子どもたちの心を大きく育てるチャンスにすることができそうですね。

(校長 菊地 宏 哉)